



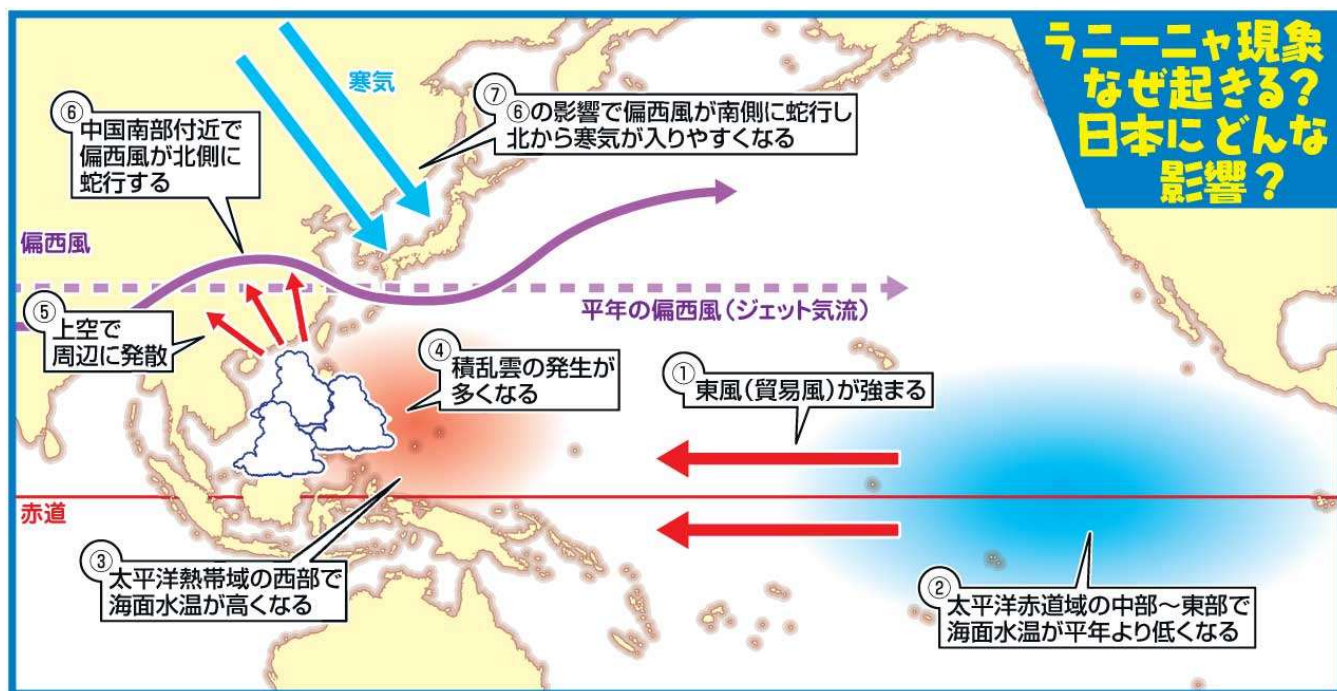
積雪に備えましょう！

今回のトピックス

11月に入り気温の低い日が多くなってきました。
気象庁の予報では、12月～来年2月の気温は『**ラニーニャ現象**』の影響のため、平年より低いとの見通しで、積雪も予想されます。
本格的な冬を迎える前に今一度、積雪に備えて事故・怪我を未然に防ぎましょう！

『ラニーニャ現象』とは？

『ラニーニャ現象』とは太平洋赤道域の日付変更線付近からペルー沖にかけて、海面水温が基準値より0.5度以上低くなり、その状態が1年程度続く現象のことです。反対に同海域の海面水温が高くなることを『エルニーニョ現象』と言い日本では『ラニーニャ現象』が発生すると暑夏寒冬に『エルニーニョ現象』では、冷夏暖冬になる傾向があると言われています。



この冬は『ラニーニャ現象』の影響で積雪するかも・・・
次ページに現場で行える対策や積雪時の通勤について
注意事項を記載しているのでチェックしましょう！



積雪に向けた現場での事前準備・対策

◎除雪用資材の事前確認

- ・『雪かきスコップ』『防具（ヘルメット等）』の資材に劣化・不足はないか
※その他、必要なものがあれば早めに物件担当者に確認

◎積雪時の建物内外の事前確認

- ・積雪の影響による、建物内外の危険個所を確認しているか
※緊急時の対応手順はしっかりと準備されているか
- ・日常的に雨天時に漏水している箇所がないか
※漏水がある場合、漏水箇所の対策や顧客への報告・改修提案を行っているか
- ・館内の床マットの劣化や雨天用マットの準備に不足がないか
※滑りやすい箇所に対する『注意標識』等の準備は問題ないか

除雪作業を行う場合には、事前に物件担当者と作業範囲、作業条件等を確認し、無理のないようにしましょう。



積雪時の通勤について

- ・積雪時の出勤は、独断で判断せずに事前に物件担当者に確認する
- ・『家⇒最寄り駅』『現場最寄り駅⇒現場』の通勤経路について、積雪時に危険と思われる個所は事前確認する
※凍結した坂道、横断報道の白線、バス/タクシー乗り場等は滑りやすいため、注意が必要
- ・積雪時は、『靴裏の溝が深いもの』『帽子』『手袋』『リュック』等を着用し、両手を開けた状態で少しずつ歩くようにする。



雪道は人が歩き、踏み固められた状態が滑りやすくなるため、十分に注意しましょう。

積雪時の自転車、バイクの運転は大事故につながる可能性があるので、絶対にやめましょう！！

